

海の男たちの有田焼 『波濤を越えて』 展

会場：②CHINA ON THE PARK忠次館

17世紀に海外に向けて「古伊万里」が積み出された長崎港、明治22年に鎮守府が開かれた佐世保港、海外に開かれた港は有田焼の歴史に密接な関係を持っています。本展では其々の時代に活躍した海の男たちの愛用品をご紹介します。



連合艦隊士官用食器

FUKAGAWA-SEIJI

深川製磁2012陶器市ガイドブック

『窯元を支えた妻たちの作品展』

会場：①深川製磁 本店

業随れ精神の中で育った明治の良妻賢母「モト」、大正ロマンの中で育った天真爛漫な「敏子」、激動の昭和を生きた「田鶴子」、そして再び海外へと導く「恵以子」、激動の時代を窯主と共に深川製磁を支えた4人の妻たちが残した作品からは、それぞれの時代の流れを垣間見ることが出来ます。



忠次の妻モトの作品

